

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位: 百万円)

団体名 坂出市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
11,674	1,207	456	13,337

1. 一般会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	21,796	21,157	639	581	119	20,902	
葬祭事業特別会計	11	57	46	46	-	-	
王越診療所特別会計	17	34	17	17	7	-	繰入(一般会計)
公共用地先行取得事業特別会計	111	111	0	0	111	548	繰入(一般会計)
一般会計等(純計)	21,292	20,716	576	518		21,451	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	6,904	6,463	441	441	330	-	-	事業勘定
国民健康保険と島診療所特別会計	6	33	27	27	-	-	-	直診勘定
老人保健特別会計	833	833	0	0	51	-	-	
介護保険特別会計	4,583	4,480	103	103	671	-	-	保険事業勘定
介護保険介護予防支援事業特別会計	46	46	0	0	6	-	-	サービス事業勘定
坂出駅北口地下駐車場事業特別会計	96	96	0	0	53	863	767	
後期高齢者医療特別会計	791	780	11	11	207	-	-	
下水道事業特別会計	2,023	2,383	360	0	624	9,254	7,042	
坂出港湾整備事業特別会計	77	1,297	1,221	1,159	50	-	-	港湾整備事業 宅地造成事業
土地区画整理事業特別会計	50	475	425	404	50	-	-	
水道事業会計	1,426	1,349	77	1,145	5	4,208	4	法適用企業
市立病院事業会計	3,007	2,916	91	1,631	-	279	-	法適用企業
公営企業会計等 計				1,741		14,604	7,813	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位: 百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
坂出宇多津広域行政事務組合	710	708	2	2	-	986	817	
香川県後期高齢者医療広域連合	104,751	100,454	4,297	4,297	23	-	-	
一般会計等	1,452	1,441	11	11	23	-	-	
一般会計	1,452	1,441	11	11	23	-	-	
後期高齢者医療医療事業特別会計	103,299	99,013	4,286	4,286	-	-	-	
一部事務組合等 計				4,299		986	817	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位: 百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
坂出市土地開発公社	1	26	5	-	-	1,083	-	1,043	
本州四国総合開発(株)	1	163	13	-	-	-	-	-	
(財)坂出市学校給食会	0	21	10	23	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計			28	23	-	1,083	-	1,043	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位: 百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	855	929	74
減債基金	18	18	0
その他充当可能基金	930	1,014	84
充当可能基金 計	1,803	1,961	158

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	0.53	3.88	3.35	12.92	20.00	水道事業会計	78.7	83.8	5.1
連結実質赤字比率	10.42	16.93	6.51	17.92	40.00	市立病院事業会計	45.4	54.7	9.3
実質公債費比率	20.0	19.3	0.7	25.0	35.0	下水道事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	181.7	170.8	10.9	350.0		坂出港湾整備事業特別会計	4499.7	4375.0	124.7
財政力指数	0.884	0.893	0.009			土地区画整理事業特別会計	95.7	95.2	0.5
經常収支比率	94.1	91.6	2.5						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。